

「六つの視点」を活用した記録用紙<活用例及び使い方>

記録用紙（授業者・保育者用）

**記録**

本時に見られた幼児・児童の行動やつぶやき、表情等を、ありのままに記録する。文字だけではなく絵や図などを用いて記録してもよい。

※ 記入する欄を大きく取り、担当が思い起こした幼児・児童の姿を多く書き残せるようにしている。

**六つの視点**

「記録」に記した幼児・児童の姿を、振り返って分析、考察する際の参考にする。線で結んだり気付いたことをメモしたりしながら、幼児・児童がどのような思いや願いをもっていたのか、どのような経験をしているのかなどを捉える。

※ 書くことへの負担を軽減するため、「六つの視点」のみを示し、詳細の分析・考察を記す欄は設けていない。

<対象> 第 / 学年 / 年保育 歳児  
 <日にち> 令和元年 10月15日 (火) <時間> ① 午後10時45分 ~ 12時20分  
 <単元名/活動名> 虫とむかし  
 <本時のねらい> ① 虫とむかしをとり、虫とかがわる遊びをしたりして、小さな生き物に親しみをもつことが出来る。  
 <記録した場面>

記録 (幼児・児童の姿、教師の支援・援助、環境の構成 等)	六つの視点
・ a ... タンゴムシ フンがケースに付いている様子を見て「黒と茶色のウンチだね！」 ① 「人間と一緒だね」→ a 笑う。	見付ける
・ b ... カマキリの卵を見付ける。  「クリームみたい」	比べる
・ c ... バッタにエサをあけようとしているが「草がカラカラで、草も乾燥している。」 ① 「cさんは新鮮なサラダと草をいれ、サラダ、どちらがいい？」 c 「新鮮！」→ 火田に向かって草を取って来る。	たとえる
・ d ... 火田でバッタを探しているが見付からない。 e が近付いてきて、「00の本にバッタは葉を食べるって書いてあるよ」と教える。 d は葉を噛む。でも、バッタはいなくて、途中で「ケンゴロウを見付けて喜ぶ。ケースに入れる。」	試す
・ f ... 「タンゴムシに丸まらない種類があるよ」→ 「ワジミミだよ」と友達に教えてもらい、知る。	見通す
・ g ... カマキリの捕食をしーと見ている。「15分かけて食べて、あなから食べて」と①に知らせに来る。 (バッタの) ①「時計を見ていたのよ、そっかよ。」	工夫する

<次の授業・保育に向けて>  
 ①の声掛け、振り返りの時間における価値付け  
 → 六つの視点に紐がけような声掛けをしていく。  
 (e) 「それ、おもしろだね」  
 「それ、何かに似てない？」  
 「〜と同じだね」  
 「〜と違うところある？」  
 ⇒ 児童の体験の形態にならないように留意する。

**次の授業・保育に向けて**

本時の振り返りを受けて、翌日以降の具体的な指導の手だてを考える。

記録用紙（参観者用）

**記録**

本時の幼児・児童の姿を、ねらいに照らし合わせ、「六つの視点」も参考にしながら、参観者が印象に残った場面を記録する。

**分析・考察 六つの視点**

記録する場面を選ぶ際の参考にしたり、分析・考察をする際の視点として活用したりする。

<対象> 第 / 学年 / 5歳児 組  
 <日にち> 令和元年10月28日 (月) <時間> ① 午後 10時00分 ~ 11時00分  
 <単元名/活動名> スイーツ作り  
 <本時のねらい> ① 自分目的に向かって、考えたり試したりして遊ぶことを楽しむ。  
 <記録した場面>

記録 (幼児・児童の姿、教師の支援・援助、環境の構成 等)	分析・考察
・ アイデア転写 } 色とり 紙粘土 } アイディアを表現する 黄緑色 → 卵を表現したいから色とり	見付ける 作りから発見していく。 アイディア転写を表現する感覚を体験した。
・ 紙粘土の色作り 茶(黄緑) → 早く色を混ぜた紙粘土 「青とどうやって作る？」 → 紙粘土を多量に入れたり、割ることで色が変わる。(水色・赤)	比べる 粘土・紙粘土の色バランス (黄緑色) 紙粘土の色を青や赤と混ぜる
・ 黄緑色は水色と混ぜて作る → 黄緑色になった 「黄緑色、100%の黄緑色 黄緑色、100%の黄緑色」	たとえる 黄緑色と茶色 (茶色は黄緑色) 茶色と黄緑色、試してみよう
・ 「自分たちが作っているから、みんな色が変わるね。」	見通す 手回しで作った 黄緑色と茶色

<協議用メモ>  
 記録から見て、工夫の手  
 たいは、記録の書き残しを①に促す。  
 作りから発見していく姿

**協議用メモ**

保育者・教師同士で意見交換した内容をメモする。

**分析・考察 「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿**

記録した幼児・児童のありのままの姿を、保育・授業参観後に、「六つの視点」を基に丁寧に捉え直し、「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿をより具体的な姿として表す。